

# 令和7年度採用 中学校 社会

| 教科（科目） | 受験番号 |
|--------|------|
| 社会     |      |

1 次の設問（１）～（１２）に答えよ。

（１） 次の地図中の３地点（秋田、盛岡、宮古）と雨温図の組合せとして最も適切なものを，次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は１１。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

ア

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

ウ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

イ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

（「気象庁資料」より作成）

|   | 秋田 | 盛岡 | 宮古 |
|---|----|----|----|
| ① | ア  | イ  | ウ  |
| ② | ア  | ウ  | イ  |
| ③ | イ  | ア  | ウ  |
| ④ | イ  | ウ  | ア  |
| ⑤ | ウ  | ア  | イ  |
| ⑥ | ウ  | イ  | ア  |

- (2) 次のグラフは、北海道、東北、関東、北陸、九州の各地方の農業産出額の内訳を示したものである。関東地方に当てはまるものとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は12。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(「令和4年度 生産農業所得統計」より作成)

- (3) 次の文章を読み、下線に誤りを含んでいるものを、①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は13。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(国土地理院 地形図「五所川原」平成23年発行を一部改変)

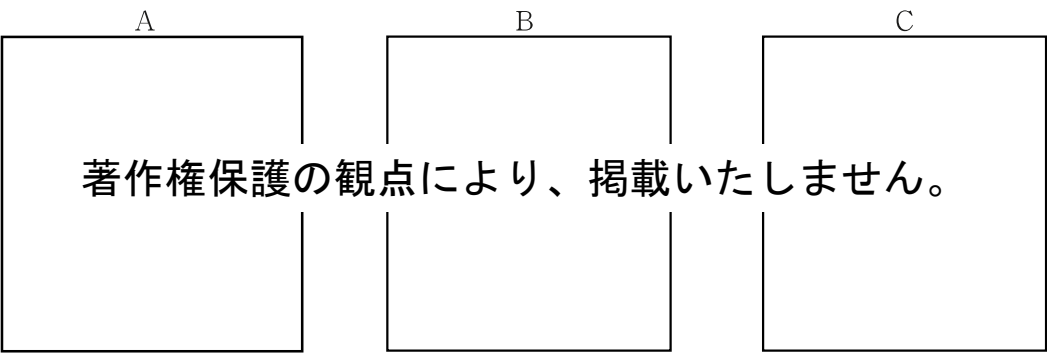
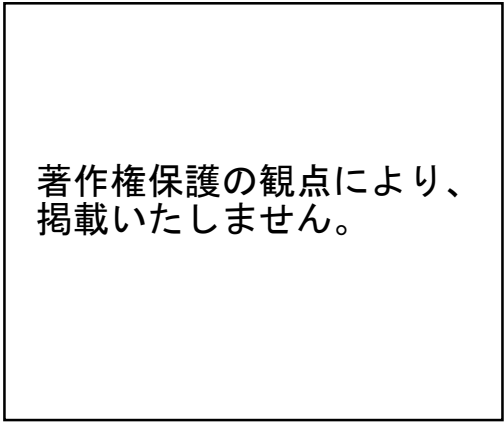
上の地形図は、青森県の岩木川流域のものである。南北を貫く岩木川は、つがる市と鶴田町の①市町の境の一部となっている。

地点アは、旧河道に位置しており、主に水田として利用されていることが分かる。一般に、旧河道は地盤が弱く、地震の際には②液状化現象が起こりやすいといわれる。

地点イは、自然堤防上に位置しており、③主に果樹園として利用されていることが分かる。また、地点イの東側には列状に集落も見られる。一般に、農村において、自然堤防上は、④集落や畑として利用されることが多い。

地点ウは、自然堤防の背後に位置しており、主に水田として利用されていることが分かる。一般に、氾濫原において、自然堤防の背後は、⑤水はけのよい後背湿地となる。

(4) 次の地図中に示されたア～ウの国と、それぞれの国における宗教別人口割合を示したグラフA～Cの組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。  
解答番号は14。



(「De Grote Bosatlas 2007」ほかより作成)

|   | ア | イ | ウ |
|---|---|---|---|
| ① | A | B | C |
| ② | A | C | B |
| ③ | B | A | C |
| ④ | B | C | A |
| ⑤ | C | A | B |
| ⑥ | C | B | A |

- (5) 次のグラフ中のA～Cは、日本、ベトナム、マレーシアのいずれかの15歳以上の産業別就業者人口の割合を示しており、記述ア～ウはこれらの国の産業の特色について説明している。グラフと記述から、マレーシアを示した組合せとして最も適切なものを、次の①～⑨の中から一つ選べ。解答番号は15。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

(「世界の統計 2024」より作成)

- ア この国では、1980年代中ごろから、ドイモイ（刷新）とよばれる市場開放政策を展開し、シンガポールなどの賃金水準の高い国から、繊維製品や食料品などの労働集約的な工業の生産拠点が移転してくるようになった。1990年代にはASEANに加盟し、現在では、周辺の国々からの投資も盛んになっている。
- イ この国は、1960年代に高度経済成長を成し遂げ、電気機械や自動車などの生産と輸出が拡大したが、1980年代に入ると貿易摩擦が生じたことや人件費の高騰などから、生産拠点の海外移転が進んだ。1990年代以降は、情報通信技術の進展によって情報通信業が発展した。
- ウ この国は、ASEANの中でも早くから工業化が進んだ。輸出加工区に外国企業を誘致し、半導体の集積地を作るなどして、電機・電子産業を発展させたことで、かつては天然ゴムや原油が主な輸出品であったが、現在では機械類が主な輸出品となっている。

- ① A・ア      ② A・イ      ③ A・ウ      ④ B・ア      ⑤ B・イ  
⑥ B・ウ      ⑦ C・ア      ⑧ C・イ      ⑨ C・ウ

- (6) 次のグラフは、アジア、アフリカ、北アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアの食料生産量と人口の推移について、2005 年を 100 として示したものである。アフリカのグラフとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 16。

| ①                     | ② | ③ |
|-----------------------|---|---|
| 著作権保護の観点により、掲載いたしません。 |   |   |
| ④                     | ⑤ |   |
| 著作権保護の観点により、掲載いたしません。 |   |   |

(「FAOSTAT」より作成)

- (7) 次の資料は、13世紀半ばの伯耆国東郷荘の土地経営に関する略図である。資料に関する記述ア～エについて、正しいものの組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は17。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(「伯耆国河村郡東郷荘下地中分絵図」より作成)

ア 境界線を境に、東部は領家分、西部は地頭分として領域別に二分していることがわかる。

イ 田地・山林・牧野を、それぞれ領家分・地頭分に二分していることがわかる。

ウ この資料は、地頭の荘園侵略が激しくなる中で、荘園を分割して片方を地頭の支配に任せ、互いに干渉せずに土地と農民とを支配する取り決めを示した図である。

エ この資料は、地頭が荘園全体を管理し、領主に一定の税を納入する取り決めを示した図である。

- ① ア・エ      ② ア・ウ      ③ イ・ウ      ④ ア・イ      ⑤ イ・エ

- (8) 次の資料A～Cと、それぞれが描かれた頃の文化の特色に関する記述ア～ウの組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は18。

<資料>

A 「四季山水図巻」

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

B 「紅白梅図屏風」

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

C 「鳥獣戯画」

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

ア 経済と文化の先進地であった大坂や京都などの上方を中心に文化が発展した。また、江戸では、都市の風俗を描く浮世絵があらわれ、民衆に広く普及した。

イ 貴族文化が、新たに台頭してきた武士や庶民とその背後にある地方文化を取り入れるようになった。また、地方の合戦に取材した軍記物もつくられはじめた。

ウ 風雅を尊ぶ日本古来の精神に簡素を重んじる禅の精神が合わさって、幽玄の境地を求める傾向が文化の各方面に広くあらわれるようになり、簡素ななかに幽玄を重んじた庭園などもつくられた。

|   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| ① | ア | イ | ウ |
| ② | ア | ウ | イ |
| ③ | イ | ア | ウ |
| ④ | イ | ウ | ア |
| ⑤ | ウ | ア | イ |
| ⑥ | ウ | イ | ア |

- (9) 次の文章は、東南アジアのある国の独立後の展開について述べたものである。この文章にあてはまる国として最も適切なものを、地図の①～⑤の中から一つ選べ。
- 解答番号は19。

1945年、この国は、フランスからの独立を宣言したが、これを認めないフランスとの間で戦争となった。1954年、フランス軍の要塞陥落を機に休戦協定が成立したが、北緯17度線を境界線に北と南に分断され、それぞれ中国・ソ連とアメリカの支援を受けて対立を深めた。1960年代に入るとアメリカが南の勢力を支援して本格的な軍事介入をおこなった。これに対して、中国とソ連は北の勢力に軍事・経済援助をおこなった。1976年、最終的には北の勢力が勝利し社会主義国家が成立した。

著作権保護の観点  
により、掲載いた  
しません。

- (10) 次の史料A～Cは、近代日本の国際関係に関連するものである。A～Cに関する記述ア～ウのうち、その説明が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」としたとき、その組合せとして最も適切なものを、次の①～⑧の中から一つ選べ。  
解答番号は20。

<史料>

A

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

B

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

C

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

ア 史料Aにより、ロシアは韓国に対する日本の指導、監督権を全面的に認めた。

イ 史料Bにより、日本は第一次世界大戦の終結後、ドイツが中国や南洋諸島に持っていた権益を継承することとなった。

ウ 史料Cを内容とする条約が調印されると、野党や軍部などは、条約を結んだ浜口雄幸内閣に対して、統帥権の干犯であるとして激しく攻撃した。

|   | ア | イ | ウ |
|---|---|---|---|
| ① | ○ | ○ | ○ |
| ② | ○ | ○ | × |
| ③ | ○ | × | ○ |
| ④ | ○ | × | × |
| ⑤ | × | ○ | ○ |
| ⑥ | × | ○ | × |
| ⑦ | × | × | ○ |
| ⑧ | × | × | × |

(11) 次の宣言が調印された時期として最も適切なものを、年表中の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は21。

日本国とソヴィエト社会主義共和国連邦との間の戦争状態は、この宣言が効力を生ずる日に終了し、両国の間に平和及び友好善隣関係が回復される。

<年表>

| 年代     | 日本に関する主な出来事    |
|--------|----------------|
| 1951 年 | サンフランシスコ平和条約調印 |
|        | ↑<br>①<br>↓    |
| 1960 年 | 日米新安保条約調印      |
|        | ↑<br>②<br>↓    |
| 1965 年 | 日韓基本条約調印       |
|        | ↑<br>③<br>↓    |
| 1972 年 | 日中共同声明調印       |
|        | ↑<br>④<br>↓    |
| 1978 年 | 日中平和友好条約調印     |
|        | ↑<br>⑤<br>↓    |
| 1985 年 | プラザ合意成立        |

(12) 日本国憲法に関する記述の正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑧の中から一つ選べ。解答番号は22。

ア 吉田茂内閣はGHQの指示を受け、大日本帝国憲法の改正案の作成に着手した。

イ 日本国憲法は、大日本帝国憲法を改正する形式をとり、衆議院と貴族院で修正、可決された後、公布、施行された。

ウ 新憲法のもとで最初に実施された衆議院議員総選挙では、自由民主党と日本社会党による二大政党制が成立した。

|   | ア | イ | ウ |
|---|---|---|---|
| ① | ○ | ○ | ○ |
| ② | ○ | ○ | × |
| ③ | ○ | × | ○ |
| ④ | ○ | × | × |
| ⑤ | × | ○ | ○ |
| ⑥ | × | ○ | × |
| ⑦ | × | × | ○ |
| ⑧ | × | × | × |

2 次の設問（１）～（８）に答えよ。

- （１） 次の世界地図 a ～ c に関する記述ア～ウについて、その説明が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」としたとき、その組合せとして最も適切なものを、次の①～⑧の中から一つ選べ。解答番号は 2 3。

| a                         | b                         |
|---------------------------|---------------------------|
| 著作権保護の観点により、<br>掲載いたしません。 | 著作権保護の観点により、<br>掲載いたしません。 |
| c                         |                           |
| 著作権保護の観点により、<br>掲載いたしません。 |                           |

ア a は、緯線と経線の間隔の拡大率が一定になるように描いた図法。緯線は常に正確に南北を示すため、羅針盤に頼る航海には重要であった。

イ b は、経線が楕円曲線からなり、高緯度地域でも比較的形のひずみが小さい。世界全図や世界全体を対象とした各種の分布図などに用いられる。

ウ c は、図の中心から任意の地点までの方位と距離が正しく表される図法。国際連合のマークは、この図法の世界全図を図案化したものである。

|   | ア | イ | ウ |
|---|---|---|---|
| ① | ○ | ○ | ○ |
| ② | ○ | ○ | × |
| ③ | ○ | × | ○ |
| ④ | ○ | × | × |
| ⑤ | × | ○ | ○ |
| ⑥ | × | ○ | × |
| ⑦ | × | × | ○ |
| ⑧ | × | × | × |

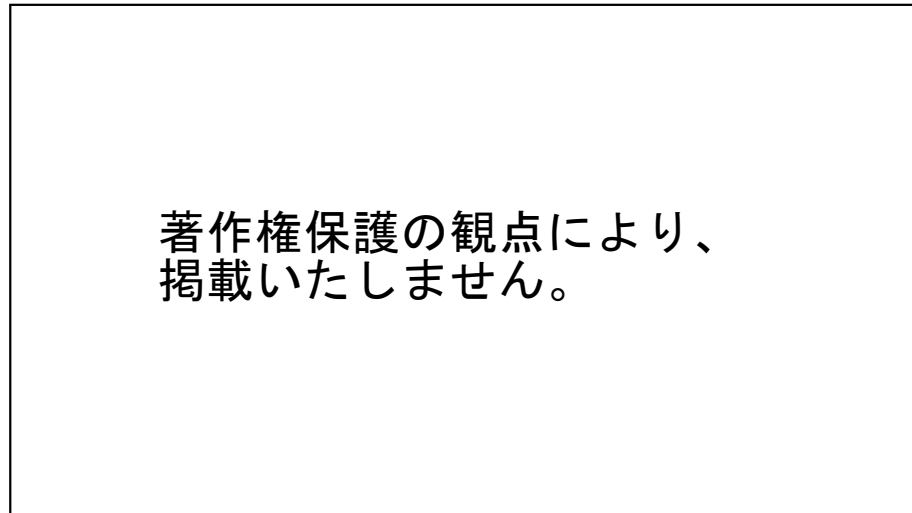
- (2) 次のグラフは、1960年から2020年における米・魚介類・肉類の食料自給率の変化を表したものである。A～Cの品目の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は24。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

(「日本国勢図会 2022/23」などより作成)

|   | A   | B   | C   |
|---|-----|-----|-----|
| ① | 米   | 魚介類 | 肉類  |
| ② | 米   | 肉類  | 魚介類 |
| ③ | 魚介類 | 米   | 肉類  |
| ④ | 魚介類 | 肉類  | 米   |
| ⑤ | 肉類  | 米   | 魚介類 |
| ⑥ | 肉類  | 魚介類 | 米   |

- (3) 次のグラフは、国際連合の加盟国数の変化を地域別に表したものである。A～Eの地域の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は25。



(「国連資料」より作成)

|   | A     | B      | C      | D      | E      |
|---|-------|--------|--------|--------|--------|
| ① | アフリカ  | アジア    | ヨーロッパ  | オセアニア  | 南北アメリカ |
| ② | アフリカ  | ヨーロッパ  | アジア    | 南北アメリカ | オセアニア  |
| ③ | アジア   | 南北アメリカ | オセアニア  | アフリカ   | ヨーロッパ  |
| ④ | アジア   | オセアニア  | アフリカ   | 南北アメリカ | ヨーロッパ  |
| ⑤ | ヨーロッパ | アフリカ   | 南北アメリカ | アジア    | オセアニア  |
| ⑥ | ヨーロッパ | 南北アメリカ | オセアニア  | アフリカ   | アジア    |

- (4) 次の裁判員制度に関する記述として適切なものを、次の①～⑤の中から**すべて**選べ。解答番号は26。

※令和6年度以降の裁判員制度のこととする。

- ① 裁判員は、重大な犯罪に関する刑事事件の第一審から第三審まで参加する。
- ② 裁判員は、裁判官とともに有罪か無罪かだけでなく、量刑も相談して決める。
- ③ 裁判員は、満18歳以上の国民の中から、くじなどによって選ばれる。
- ④ 裁判員に選ばれた場合には、特別の理由がない限り、辞退することができない。
- ⑤ 原則として、6人の裁判官と3人の裁判員が一つの事件を担当する。

- (5) 次のグラフは、需要と供給と価格の関係を示したものである。ア～エに入る言葉の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は27。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| d. 1個600円のケーキが35個 | ⇒ 需要に対し、供給が（ア）ため（イ）。 |
| c. 1個400円のケーキが25個 | ⇒ 閉店時に売り切れ。          |
| b. 1個200円のケーキが15個 | ⇒ 需要に対し、供給が（ウ）ため（エ）。 |

|   | ア   | イ        | ウ   | エ        |
|---|-----|----------|-----|----------|
| ① | 少ない | 売れ残る     | 多い  | すぐに売り切れる |
| ② | 多い  | すぐに売り切れる | 少ない | 売れ残る     |
| ③ | 少ない | すぐに売り切れる | 多い  | 売れ残る     |
| ④ | 多い  | 売れ残る     | 少ない | すぐに売り切れる |
| ⑤ | 多い  | 売れ残る     | 多い  | 売れ残る     |

(6) 次の文章 (a) ～ (d) は、「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 社会編（平成 29 年 7 月 文部科学省） 第 1 章 総説 2 社会科改訂の趣旨及び要点 (2) 改訂の要点 ④ 学習指導の改善充実等」と、「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 地理歴史編（平成 30 年 7 月 令和 3 年 8 月 一部改訂 文部科学省 第 1 章 総説 第 2 節 地理歴史科改訂の趣旨及び要点 2 地理歴史科改訂の要点 (4) 学習指導の改善・充実等」の一部である。(a) ～ (d) の記述のうち、「中学校学習指導要領」の記述に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は 28。

|     |                                                                                                                         |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (a) | 地域の特色を明らかにするための中核となる事象を，従前よりも柔軟に設定することができ，諸地域の単なる地誌的な知識の習得に偏重した学習に陥ることなく，より動態地誌的な考え方の趣旨に沿った展開ができるよう意図した。                |
| (b) | 一連の主体的な学習活動によって，ここでの学習が授業の中で終結することなく，授業後の日常生活においても持続的に行われ，実社会に出ても継続的に持続可能な生活圏の在り方を考え続けることができる契機となるよう意図した。               |
| (c) | 「見方・考え方」を用いることによって，生徒が獲得する知識の概念化を促し理解を一層深めたり，課題を主体的に解決しようとする態度などにも作用したりすることが期待されることから，歴史ならではの「見方・考え方」に基づく学習活動の充実が求められる。 |
| (d) | 「思考力，判断力，表現力等を身に付ける」学習との関係や，それらの各事項に示した歴史に関わる個別的な事象同士の関係を明確にするために，学習内容と学習の過程を構造的に示した。                                   |

- ① (a) と (b)
- ② (a) と (c)
- ③ (a) と (d)
- ④ (b) と (c)
- ⑤ (b) と (d)
- ⑥ (c) と (d)

- (7) 次の文章は、「中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示 文部科学省）第 2 章 各教科 第 2 節 社会 第 2 各分野の目標及び内容〔公民的分野〕 2 内容」の一部である。□ A □ ～ □ C □ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は 29。

D 私たちと国際社会の諸課題

(1) 世界平和と人類の □ A □ の増大

対立と合意，効率と公正，協調，□ B □ 性などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 世界平和の実現と人類の □ A □ の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解すること。その際，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解すること。

(イ) 地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解すること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，□ C □ を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現すること。

(2) よりよい社会を目指して

□ B □ な社会を形成することに向けて，社会的な見方・考え方を働かせ，課題を探究する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察，構想し，自分の考えを説明，論述すること。

|   | A  | B    | C    |
|---|----|------|------|
| ① | 幸福 | 持続可能 | 国際貢献 |
| ② | 福祉 | 実現可能 | 緊急援助 |
| ③ | 福祉 | 持続可能 | 緊急援助 |
| ④ | 幸福 | 実現可能 | 緊急援助 |
| ⑤ | 幸福 | 実現可能 | 国際貢献 |
| ⑥ | 福祉 | 持続可能 | 国際貢献 |

- (8) 次の文章は、「中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示 文部科学省）第 2 章 各教科 第 2 節 社会 第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。
- A □ ～ □ C □ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は 3 0。

- (1) 社会的な見方・考え方を働かせることをより一層重視する観点に立って、社会的事象の意味や意義、事象の特色や事象間の関連、社会に見られる課題などについて、考察したことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や □ A □ を明確にして議論したりするなどの言語活動に関わる学習を一層重視すること。
- (2) 情報の収集、処理や発表などに当たっては、学校図書館や地域の公共施設などを活用するとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用し、指導に生かすことで、生徒が □ B □ に調べ分かれようとして学習に取り組めるようにすること。その際、課題の追究や解決の見通しをもって生徒が □ B □ に情報手段を活用できるようにするとともに、情報モラルの指導にも留意すること。
- (3) 調査や諸資料から、社会的事象に関する様々な情報を効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける学習活動を重視するとともに、作業的で具体的な □ C □ を伴う学習の充実を図るようにすること。その際、地図や年表を読んだり作成したり、現代社会の諸課題を捉え、多面的・多角的に考察、構想するに当たっては、関連する新聞、読み物、統計その他の資料に平素から親しみ適切に活用したり、観察や調査などの過程と結果を整理し報告書にまとめ、発表したりするなどの活動を取り入れるようにすること。

|   | A  | B   | C  |
|---|----|-----|----|
| ① | 定義 | 自主的 | 体験 |
| ② | 根拠 | 主体的 | 体験 |
| ③ | 定義 | 自主的 | 考察 |
| ④ | 根拠 | 主体的 | 考察 |
| ⑤ | 定義 | 主体的 | 考察 |
| ⑥ | 根拠 | 自主的 | 体験 |